



令和四年度文学の散歩道 入選作品

情歌の部			冠句の部			川柳の部			俳句の部			短歌の部		
小さく芽生えたそのきっかけとなった嬉しい席隣り	逢瀬重ねてだんだん好きに成って行くのが恐いのよ	恋はまだく入口辺り初心な一途が羨ましい	申告書 迷う心の花言葉	練習中 いつか夢見る大舞台	気にかかる 約束交わした日の小指	托鉢の僧侶の足にスニーカー	退屈をマスクにしまふ秋の雨	初音聞き心も軽くウォーキング	秋夕焼影踏み鬼の土埃	一礼の野球少年風薫る	釣り船の軋む艫の音春光る	七草の芹を摘みたる川岸に小鳥かけ寄り初春祝う	休日の無風にありて午後の椅子続きのページそっと広げる	満開の桜並木を通りつつ戦禍を受けたるウクライナ思う
小南	三上	近江八幡市	竜王町	高木	小南	三上	辻町	小南	栗東市	南櫻	西河原	守山市	小南	三上
蜻蛉	雨蛙	千穂	小森 和美	都人	泉 歌子	櫻木 博子	おれんじ	脇坂 洋子	蜘蛛野 はるか	南井 剛	中山 博	小島 京子	木楽蜻蛉	林 くみ子

